

2021年5月27日

各 位

会 社 名 スターリング証券株式会社  
代表者名 代表取締役社長 槇野 冬樹

## 株式会社三光マーケティングフーズ（東証2部2762）に向けた成長支援投資のお知らせ

スターリング証券株式会社（以下、「当社」）は、株式会社三光マーケティングフーズ（以下「三光MF社」）が実施する業績の安定化へ向けた構造改革と企業価値の拡大を目的とした成長戦略のための総額10億円のエクイティ・ファイナンスの買受けを決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 投資サマリー

—持続可能な世界の実現に向けた「漁業・水産業における取引のDX化」と「プラットフォームへの取り組み」—

持続可能な世界の実現の為のSDGs（Sustainable Development Goals）とは、「誰一人取り残さない」という理念のもと、貧困や格差をなくし、持続可能な社会を実現するために2030年までに世界が取り組むべき行動計画です。三光MF社は、このSDGsを念頭に置いて、2020年9月に日本の漁業の活性化及び相互の事業の発展を目的として、沼津我入道漁業協同組合と業務提携を行い、同年12月には同組合から法人組合員として迎入れられました。漁業が抱える問題点として、漁業生産の減少、漁師の後継者不足と高齢化、漁村の限界集落化、魚価の低迷等、どの統計においても衰退の一途を辿っており、縮小再生どころか消滅に向かっているとすら言えます。三光MF社は、漁業が抱えるこうした様々な問題に、漁師と共に手を携え、日本の漁業延いては魚食文化を、自分たちの子どもの世代、また次の世代へとバトンタッチできるように守り続けていくことを使命としています。その挑戦には、持続的に最大利益をもたらすことができる漁業・水産業への転換が必要不可欠と考え、三光MF社はBtoSforS（Business to Society for Sustainability）企業を目指し、SDGsが掲げる目標に挑戦し、社会の課題解決と持続的な企業価値の向上を実現していくとしています。

三光MF社の成長戦略の着実な実行とイノベーションにより、企業価値および株主価値向上に繋がるものと考えており、当社は同社に対し財務戦略に留まらず成長戦略実施の側面支援やIR支援など様々な支援を実行してまいります。

内 訳	買受金額	買受株式数
新株式の買受	1億円	370,400株
新株予約権の買受	9億円	3,333,400株
総 額	10億円	3,703,800株

投資実行予定日	2021年6月14日
---------	------------

### 2. 投資の視点

#### (1) 事業優位性およびポテンシャル

三光MF社は創業以来、「価値ある食文化の提案」を基本理念とし、日本の食文化への貢献に取り組んできました。また、飲食業界の新業態イノベーターとして個室居酒屋「東方見聞録」、格安居酒屋「金の蔵」、元祖焼き牛丼「東京チカラめし」等、業界の注目を集める数々のブランドを開発し、積極的なドミナント出店戦略による多店舗展開を行ってきました。

三光MF社の強みとしてきた「ブランド開発力+店舗展開力」で注目される業態を生み出すという事業戦略に加え、同社のミッションをより一層意識したSDGsを踏まえた戦略を構築して、持続的な成長が期待できるビジネスモデルの確立を目指し、2020年9月には沼津我入道漁業協同組合との業務提携を通じた水産事業への参入を決定しています。今後の更なる新規事業の創出や積極的な展開など、アップサイドが期待できます。

---

## (2) 成長戦略

### 戦略①水産DX競りプラットフォーム構築

- A. 「バーチャル競り (B2B)」システム構築
  - ※適正価格による卸・仕入れの実現
- B. 「バーチャル競り (B2C)」システム構築
  - ※個人の競り直接参加による卸先拡大の実現
- C. 全国魚市場標準化プラットフォーム構築
  - ※沼津漁港プラットフォームを基盤としてマーケティング・PRをデジタル化し、全国標準化を実現

### 戦略②新規事業参入に向けた業務提携・買収

- A. 水産の6次産業化へ向けた移動販売事業
  - ※鮮魚の消費者への直接配送実現
- B. 水産の6次産業化へ向けたリアル店舗展開
  - ※購買感度が高い消費者の取り込み
- C. 水産DXプラットフォーム構築の事業買収
  - ※EC通販を始めとする水産業の横展開を目的としたICTに精通した事業会社の買収

### 戦略③既存事業への投資

- A. 主力ブランド店舗の新規出店

三光MF社では長期的かつ安定的な企業価値の向上へ向けて、アフターコロナでも利益を出していけるための「構造改革の推進」と「成長分野の育成」としての新規事業への取り組みを強化して、既存の飲食事業を黒字・安定化させることを目指しつつ、かつ、将来の成長基盤の一つとする水産事業は、業績の貢献には時間を要すると考えられるものの、更なる積極的な投資を行うことが重要な事業戦略と考えております。

「成長分野の育成」としては、将来において三光MF社の企業価値拡大を伴う成長の軌跡を築いていける新たな事業基盤を構築していくことにあると考え、水産事業への参入を決定しており、三光MF社における新たな事業展開のエントリー・ポイントと据え、今後は漁業プラットフォーム構築、鮮魚のD2C、魚の加工品ブランドのEC通販などへ展開を広げていく取り組みを開始しております。

---

## (3) セクター注目

日本の外食産業は慢性的な人手不足や価格競争などによる閉塞感に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化する様相を呈している中、取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況下にあります。リモートワークが推奨され外食機会が減った一方で、中食やUber Eats (ウーバーイーツ)をはじめとするテイクアウトスタイルは確実に増えています。このようにテクノロジーの進化は外食産業にも及び、日本の外食産業の業態を大きく変容させ、新しい価値を生み出す可能性に注目しています。

---

### 3. 三光MF社の概要

会社概要		トレーディングデータ	
(1) 商号	株式会社三光マーケティングフーズ	時価総額	4,273 百万円
(2) 代表者	代表取締役社長 長澤 成博	発行済株式総数	15,826 千株
(3) 本社	東京都新宿区高田馬場一丁目 28 番 10 号	PER	－ 倍
(4) 設立	1977 年 4 月		
(5) 従業員数	272 名		
(6) 決算期	6 月		
(7) 資本金	29 億 12 百万円		
(8) URL	<a href="https://www.sankofoods.com/">https://www.sankofoods.com/</a>		

※2021 年 5 月 26 日現在

事業内容	
(1) 店舗事業	「金の蔵」「アカマル屋」を主力として、首都圏を中心に居酒屋業態を展開。また、日常食業態として「東京チカラめし」「焼肉万里」等を展開。
(2) 非店舗事業	官公庁の飲食施設の受託運営、中食およびEC通販を主軸とした展開。
(3) 水産事業	沼津我入道漁業協同組合と事業提携。今後は水産の6次産業化まで裾野を広げた水産事業を展開
(4) 海外ライセンス事業	2021 年 4 月に香港の現地企業と「東京チカラめし」ブランドのライセンス事業を開始するなど、自社ブランドを海外にてライセンス展開。

### 4. スターリング証券の投資方針

当社は、ファイナンスの買受けに際し、公正な資金調達の手として金融庁や証券取引所の定める厳正かつ公正なルールに従い実施すると共に、株式市場に対しては透明性を重視し、投資家の不利益にならない条件でファイナンスの買受を実施しております。

以 上

本件に関するお問い合わせ先  
スターリング証券株式会社 投資銀行部  
電話：03-6706-4866 e-mail：info@sterlingsecurities.jp  
<https://www.sterlingsecurities.jp/>